

水田の畑地化は

～ 収益性の高い園芸品目の導入を進める ～



みや なり あき よし
宮 成 昭 義

創 生 会

質

本市の農地面積6280ヘクタールのうち、4220ヘクタールが水田である中で、高収益が期待される園芸作物に取り組むとのことだが、畑地園芸の転換は厳しい状況にあると考える。市の考えは。

答 市長

最近ではフォアスという水田の地下水位を必要に応じ制御できるシステムによる排水対策が行われており、水稻栽培時の水管理をはじめ、田畑輪換が容易となり、市内では三重町の芦刈・金田・又井



質

作物等の選定は。

地区が取り組んでいます。今後も収益性の高い園芸品目の導入を積極的に進め、米生産農家の規模拡大をはじめ、高性能機械や新技術の導入による低コスト化を図り、農業産出額と農業所得の向上に努めます。

千歳小・中学校の校舎改築の考えは

～ 長寿命化計画を策定中 ～

答 農業振興課長

里芋、ニンニク等が、水田では比較的推進しやすい作物と考えています。また、新規作物でタマネギを予定している地域もあります。

質

千歳小・中学校の校舎は築41年、44年を経過し、改築の時期に来ていると考えるが、改築の考えは。

答 教育次長

緊急性、必要性等を考慮し、各種事業の実施時期を定めたいと考えています。

質

千歳中学校体育館の改修の考えは。

答 市長

部分的な悪いところは部所ごとに対応し、これからの小・中学校の校舎の在り方、体育館の在り方を含めて、長期的な視点で考えていきたいと思っています。

質

今、小学校のランドセルの重さが問題となっているが対応策は。

答 学校教育課長

各学校の児童生徒の実態を把握し、学校全体の方向性を決定するよう指導していきます。

置き勉対応策の考えは

～ 負担軽減の取り組み例を示す ～



みね 英 治

市民クラブ

質 近年の鳥獣被害状況は。

有害鳥獣等被害対策事業の強化を

～ 関係機関と連携し捕獲や被害防止に重点を置く ～

答 農林整備課長
地域を指定し、重点的に捕獲することは有

質
イノシシ、シカ被害の大きい地域を指定地域として、補助金の厚遇を検討しては。

答 農林整備課長
平成28年度が16ヘクタール、平成29年度が17・2ヘクタール、本年度が11月末現在で21・5ヘクタール、2592万1千円の被害で状況は拡大しています。

効と思いますが、捕獲した確認方法などの問題もあり、現時点では困難と考えます。

質
農業産出額117億円を守るために対策協議会に予算増額し、ドローンやICT活用などを検証する事業を強化すべきでは。

答 農林整備課長
三重町の白山地区でICT機器を活用した大型捕獲おりの実証実験を行っており、サル2匹、シカ5頭を捕獲しています。

ドローンやICT機器を活用したさまざまな手法は、近隣市との連携も必要なことから、国の補助制度を模索して大分県とも協議し、予算や手法を総合的に調査、研究していきたいと考えます。

豊後大野市観光イベント事業(チューリップフェスタ)の拡大を

～ 市の積極的な関与と補助金の充実を図る ～



質
チューリップフェスタはネームバリューと実績から本市最大のイベント。本市PRのために事業規模を拡大しては。

答 市長
チューリップフェスタは規模、集客数、経済効果から見ても本市最大のイベントです。

観光イベント補助のうち、チューリップフェスタは協働推進型の観光イベントに移行し、市の積極的な関与と補助金の充実を図り、集客力を高め、本市観光施策の一翼を担うイベントへ発展させるよう実行委員会と協議しながら取り組みを進めていきます。

※ ICT (information and communication technology) とは=情報処理やインターネットのような通信技術を利用した産業、サービスなどの総称。